

令和元年 12 月 11 日

島根県知事 丸山達也 様

島根県総合開発審議会  
会長 服部泰直

「島根創生計画」について（答申）

令和元年 7 月 3 日付け政第 119 号で諮問がありました「島根創生計画」の策定について、当審議会では慎重に調査、審議を重ねた結果、別紙のとおり答申します。

## 「島根創生計画」の策定について（答申）

当審議会は、令和元年7月3日に知事から「島根創生計画」の策定について諮問を受け、この間、地域広聴会やパブリックコメント、市町村長との意見交換会、女性活躍100人会議、知事と語る車座トークなどでの意見も参考に、当審議会における各委員の専門的な見地から調査、審議してまいりました。

この度、とりまとめられた別添の「島根創生計画」（案）について、当審議会は全体として妥当なものと評価します。

なお、次のとおり意見を述べます。

### 1. 計画について

#### (1) 島根を取り巻く情勢・島根県の将来人口の推計について

- 人口構造の変化やそれに伴う課題を的確に把握しており、適切なものと考えます。

#### (2) 島根が目指す将来像について

- オール島根で島根創生を進めるうえでの理念を共有するものとして、適切なものと考えます。

#### (3) 各施策の基本的方向について

- 島根が目指す将来像を実現するために、3つの柱、8つの基本目標を位置づけたことは、県の重点施策を強力かつ効果的に推進していくため重要だと考えます。
- また、これにより、重点施策を県民により明確にアピールし、全体像が把握できる分かりやすい計画となることから、適切であると考えます。

### 2. 計画の推進について

- 今後の計画の推進に当たっては、島根が目指す将来像の実現に向けて、県の財政状況を踏まえ、財源の確保に努めながら、着実に取り組むことを求めます。

- その際、市町村や関係団体、県民の皆様、企業・NPO等とも幅広く協働し、総力を結集して、オール島根で様々な政策を進めることを求めます。
- また、毎年度、「総合戦略アクションプラン」の柔軟な見直しや予算編成を通じて、効果的な施策の構築・推進に取り組むことを求めます。
- 当審議会としては、その実施状況をフォローアップするなど、今後とも必要な役割を果たしていきたいと考えます。